

結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の奈良県の人口は 1,421,310 人で、前回調査の 12 年に比べ 21,485 人、1.5%減少している。
- 2 人口を市町村別にみると、奈良市が 370,102 人（県人口の 26.0%）で最も多く、次いで橿原市が 124,728 人（同 8.8%）、生駒市が 113,686 人（同 8.0%）、となっており、最も少ないのは野迫川村の 743 人（同 0.1%）となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 676,375 人、女性が 744,935 人で、女性が 68,560 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、平成 12 年の 91.9 から 90.8 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 197,136 人（県人口の 13.9%）、15～64 歳人口は 938,702 人（同 66.0%）、65 歳以上人口は 283,528 人（同 19.9%）となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、0.9 ポイント低下、2.4 ポイント低下、3.3 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 65.0%、女性が 58.2%、未婚率は男性が 28.6%、女性が 23.3%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 8,848 人で、平成 12 年に比べ 405 人、4.8%増加している。
- 7 奈良県の一般世帯数は 500,994 世帯で、平成 12 年に比べ 16,040 世帯、3.3%増加している。また、一般世帯のうち 2 人世帯は 140,016 世帯（一般世帯の 27.9%）と最も多くなっている。
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.93 人から 2.78 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 325,219 世帯（一般世帯の 64.9%）で、このうち夫婦のみの世帯は 107,884 世帯（同 21.5%）、夫婦と子供から成る世帯は 175,222 世帯（同 35.0%）となっている。また、単独世帯は 104,495 世帯（同 20.9%）となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 189,915 世帯（一般世帯の 37.9%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65 歳以上の単独世帯）は 36,985 世帯（65 歳以上親族のいる一般世帯の 19.5%）、高齢夫婦世帯^{（注）}は 53,245 世帯（同 28.0%）となっている。
（注）夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 72.6%で、平成 12 年に比べ 1.5 ポイント上昇している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 107.9 m²から 109.0 m²と広がっている。

図1 奈良県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）

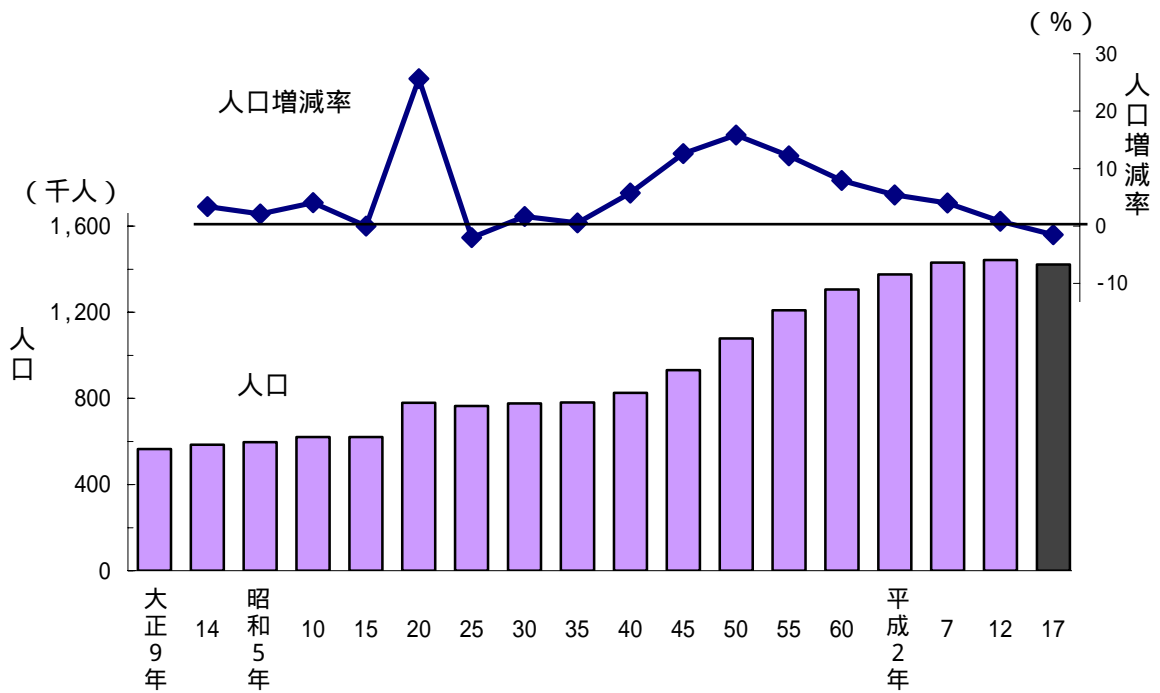


図2 奈良県の年齢（各歳）、男女別人口（平成7年・17年）

